

IHIブランドの 小型真空炉シリーズ

熱で変える、
世界を変える。

IHI Realize your dreams



日本の真空熱処理炉(真空炉)の第一号機は、1964年にIHIが航空機エンジン部品の熱処理用にアメリカから輸入したのが始まり。その後IHIは国内での需要拡大を視野に、アメリカトップメーカーと提携し製造・販売を開始。

1973年には、工業炉専用工場として岩国製作所(現在のIHI機械システム)を設立しました。

国内NO.1、全世界で2000台以上の
納入実績を誇ります。



TECHNICAL VALUE

省エネ

断熱性に優れ、熱容量が少なく真空のため、炉壁の熱損失が少ない。

光輝性

金属表面の酸化を防ぎ、光沢を失わない。

安全・クリーンな作業環境

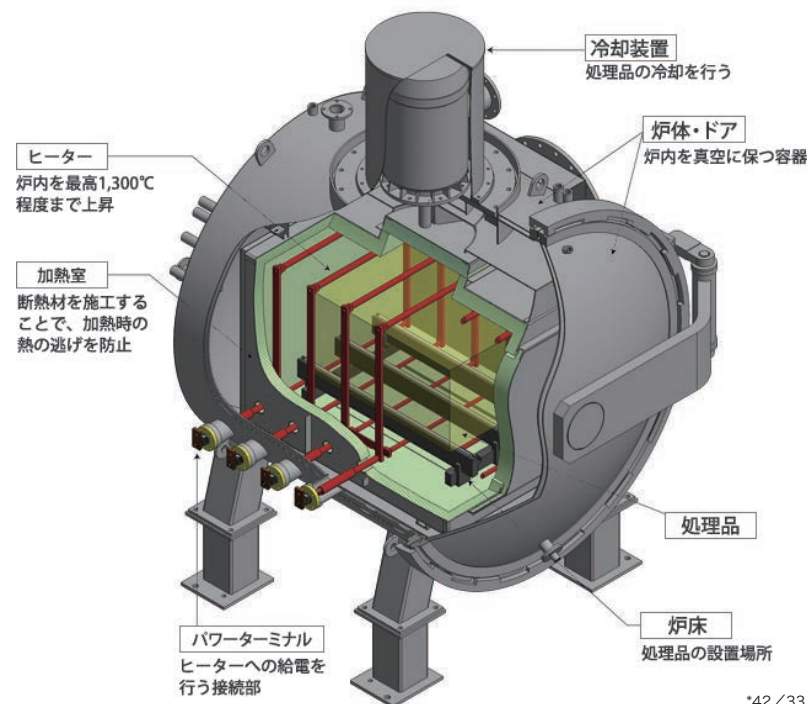
炉の外側は常温。不活性ガス使用のため、爆発火災もなく無公害。

自動化が容易(省人化)

制御対象を圧力、温度、機械的動きにすることで自動化が容易に。

■ 基本性能

操業温度常用(最高)	540℃～1280℃(1320℃) 温度分布:±5℃
到達圧力	7mPaより高真空
排気時間	大気圧から15mPaまで12分～20分以内 (脱ガス、空炉、常温N ₂ ガスパージ状態より排気)
昇温時間	常温から1150℃まで25～35分以内(空炉、真空、制御T/C温度)
冷却時間	1150℃から150℃まで15～20分以内 (空炉、N ₂ ガス280kPa、ガスファン冷却)
冷却ガス圧	87/130～280kPa(abs)
用途	焼入れ、焼戻し(540℃以上、溶体化処理、時効処理、磁性処理、 焼なまし、ろう付)



*42/33/65イメージ図

■ 標準仕様

型式	有効加熱帯 (幅×高×奥行) (mm)	処理量 (装入質量) (kg)	ヒータ 出力 (kW)	電源 容量 (kVA)	冷却 水量 (m ³ /h)	ガス消費量 (Nm ³ /サイクル)	設置スペース (幅×高×奥行き) (m)	炉体重量 (ton)
PQ-23/20/40V	230×200×400	30	25	50	8	1.6	2.8×2.1×3.0	3.0
34/22/32V	340×220×420	60	40	75	9	2.3	3.7×2.4×3.2	4.0
42/33/65V	420×330×650	180	60	80	15	5.3	4.4×3.1×3.6	6.0

*設置スペースにはメンテナンススペースとローダーの走行スペースを含まない

株式会社IHI機械システム

- 営業部
- 東日本営業部
- 各務原事業所
- 熱処理テクニカルセンター

〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-24-20 名古屋三井ビルディング新館8F
 〒135-0061 東京都江東区豊洲三丁目1-1 豊洲IHIビル
 〒509-0109 岐阜県各務原市テクノプラザ二丁目14番地
 〒509-0109 岐阜県各務原市テクノプラザ二丁目14番地

TEL.(052)446-6881
 TEL.(03)6204-8455
 TEL.(058)-322-8603
 TEL.(058)-322-8601

FAX.(052)446-6885
 FAX.(03)6204-8833
 FAX.(058)-322-8770
 FAX.(058)-322-8770

<https://www.ihico.jp/ims/>